

○居場所作り○

コロナウイルスの影響により政府より要請があった学校休校に伴い、子どもの預かり事業を行いました。感染が蔓延し始めた時期でもあり、我々職員にとっても感染するリスク、そして感染させてしまうリスクがあったので、職員一人一人にヒアリングを行い生活習慣も居場所作り事業を中心に組み立てられる人員で対応することになりました。スタッフの協力と理解があつての事業でした。感謝です♪

保護者の方は家族を守る義務と、家族を養う義務との狭間で苦慮されていて、その負担や悩みを軽減できる取り組みを行う必要があると感じました。緊急的な支援ということもあり、近隣の町内会や小学校が快く広報のご協力を頂くことができ1日平均7人のこども達を8時~15時まで受け入れることに。小さい団体だからこそスピード感を持って事業を滑りだすことが出来たと思います。

覚悟はしていましたが実際に批判を受ける事もございました。しかし、感染者を出すこともなく、3月5日からの約3カ月間にわたりこども達と過ごした時間はとても貴重で、はじめは緊張気味だったこども達ですが日を追うごとに仲良くなり、家族のような気持ちが互いに芽生えたと思っています。

画像中央は通い始めた際に女の子が書いた落書き。。。最終的には『学校よりも楽しい場所』という言葉を書いた。いいことの少なかった年でしたが、勇気をもってこの事業に取り組んでよかったです。

手を差し伸べられた人数は少ないけどこの事業を通じて大切な事を成し遂げられた気がします。



○サッカークリニック in 石巻○

年明け最初のイベント、サッカークリニック!今年も講師としてベガルタ仙台 OB の一柳選手や田村選手をお招きして1月5日に開催しました。コロナウイルスの対策として昼食の時間を作らず開始時間を午後~として時間を縮小するなど、検温や消毒も行い感染症対策は万全!選手に移したら大変ですからね~

昨年は小学生高学年を対象として60名に参加してもらいましたが、もう一段レベルの高い練習内容にするべく、今年を対象年齢を小学校6年生から中学生としました。今年の参加人数はコロナ禍、平日ということもあり送迎の問題もあり参加者は15名と伸び悩み主催者として反省です。凹

しかし、プロ選手の指導のもとで子ども達はとても熱心に取り組んでいました。ミニゲームではプロの技術を体感して子ども達は驚きの表情を見せたり、アグレッシブに選手に挑んだり、とてもキラキラ輝いていました。参加者が少ない分選手との交流も深められたのではないかと思います。新年早々今年も天気にも恵まれ、無事に終わることができ2021年の素晴らしいスタートを切ることができました。



コロナウイルスにより断念した事業等

当団体が実施予定していたイベントや4月・5月・10月には毎年恒例の東京方面へ赴き石巻の地場産品や手作り雑貨などを販売させていただいているイベントを多数断念いたしました。

7月にはよい子の遠足で恒例のプール遊びは遠足当日に残念ながら雨天に見舞われ中止。多数の申し込みもありイベントのほとんどが出来ない中、子ども達も大変楽しみにしていただけに非常に残念でした。

8月に職業体験 SKILL UP ツアー in 東京! 3泊4日で東京の企業などに訪問し実際に本物の職場で様々な仕事を見学し体験するプログラム。子ども達の夢や目標につながることを目的としたツアー。

9月には職業体験イベント GROW UP 石巻は普段の生活で経験のできない文化活動や遊びを通じて個々の視野・将来の夢に対する選択肢を子ども達に広げられる場を石巻で提供するイベント これらのイベントを開催することが出来なかったことは非常に残念でした~~~涙。

○コスモス子ども食堂○

コスモス子ども食堂を始めて今年で5年。月に一度子ども達が集まり調理から配膳、片付けなどなど。数年前は遊ぶことがメインだった子ども達も年を重ねるごとに成長を感じる瞬間があります。

今年は残念ながら新型コロナウイルスの影響で1月、2月、11月の3回のみ開催に留めました。また、6月にはフードパントリーという食料配布のみを行う事業も実施、久しぶりの子ども達との再会は私たちも嬉しくなりました。わたしたちにとってコスモス子ども食堂は子ども達の居場所としてだけでなく、関わってくれる大人の居場所、そして一番は子ども達の成長を見守ることの出来る事業でもあるので一日もはやく開催を再開できることを願っています。



○よいこのクリスマス会○

12月19日に釜会館で当団体の一大イベント!なんと今年で記念すべき10回目となるクリスマス会を開催しました。開催するにあたりこのコロナ渦でぎりぎりまで非常に迷いましたが石巻での感染者も少ないとの判断で感染対策も万全を期して開催しました。

今年は密を避けようと午前・午後と小学校ごとに分散して行いましたが冬休み前にも関わらずなんと150名の子どもたちが来てくれましたΣ(∩)

ワークショップは以前より少なめの4つのブースで対応しましたが、あまりの人数の多さに苦労しました。とはいえ今年も子ども向けのイベントがとても少なかったので開催できたことは非常に嬉しく思います。



収益事業 ドローン講習、スマート農業

平成 31 年より当団体では物産展事業の他に収益事業としてドローン事業を始めています。一般社団法人日本ドローン協会(JDA)という機関でインストラクター資格を取得。講師の立場として操作方法や法令を教えることで資格取得のお手伝いをさせて頂いています。昨年よりお仕事として農機具メーカーのヤンマーのお仕事を受諾して水田の空撮を行い育成状況の健康診断に携わることができました。主に福島県、秋田県、宮城県、岩手県などの水田を飛び回り約 2 か月で 6000kmの移動距離と120時間の飛行時間を稼ぎました。まあお金のほうもちゃんと稼がせていただきましたので、資格取得と機体の購入費用は余裕で取り戻すことが出来たくらいです。コロナ禍においても主に屋外作業がほとんどで影響が無かった為、色々な街に出向き美味しい食事をしながらドローンのお仕事が出来たのは幸せ者だったかと思えます。これからの社会で重要な役割を担うであろう先進技術を生業にしながら学ぶことが出来ましたが、農業や肥料の散布、測量、点検業務などまだまだスキルアップする余地は大きいので空撮の技術を身に付けていきたいと思えます。空撮などのご依頼があれば遠方でも駆けつけますのでお声がけください！



BIG UP 石巻 令和2年度子ども支援活動報告

当たり前だった日常や人との交流が禁じられたこの一年は私達にとって忍耐と勇気が必要な年でした。私たちの続けてきた活動は「人」と「人」との交流が欠かせない地域活動を主体としていますので、コロナウイルスはとても大きな影響をもたらしました。特に町内会の活動などは高齢者の役員が多くスマホなども使いこなせない方が多いので停滞してしまっただけの感があります。子ども支援に関しては緊急事態宣言が発令された翌日から休校中の子ども達の居場所づくりに取り掛かりることができました。支援者として東日本大震災に関わった経験ですが、困難な状況に陥った時に人と人は繋がり、素晴らしいアイデアが生まれることがあります。こういう想定外の事態が起こった際にBIG UP 石巻はスピード感もあるので強いのです。コロナに立ち向かうことで新しい仲間もたくさん出会うことが出来ました。終わりの見えない自粛生活ですが、ご支援いただいている皆様とお会いできる日が今まで以上に尊く感じています。皆さんと笑顔で会えるように気を付けて活動を続けていきます！この一年の子ども達に対する私たちなりの取り組みをこの紙面でご報告いたしますので、お時間がある際にでもお目通し頂き応援して頂ければと思います

○災害支援活動 令和元年台風 19 号水害○

2019 年 10 月に台風19号が発生し東日本全域が被災し石巻市でも数多くの家屋が被災しニーズが発生しましたが被災地域は限定的だったため石巻市内は約一ヶ月で活動完了!その後 12 月からは大崎市や丸森町での活動を開始。1 月からは宮城県と交渉のうえ石巻市内の仮設住宅を解体予定でその際に処分される予定の畳約 500 枚を消毒し石巻市・角田市・大崎市・丸森町・福島県いわき市へそれぞれ配布。その後は支援者が不足している角田市へ 6 月末まで継続的に復旧支援に行いました。2020 年熊本豪雨はあったものの幸い比較的災害の少ない年でしたが、このような年が続くとは全く思えませんね～。我々は災害支援から生まれた団体です。国内の災害支援には可能な限り参加します！【東日本大震災の際に日本財団より寄贈を受けた 2t ダンプが故障】当団体で所有していたダンプ車両は災害支援のみならず様々な活動で活用されていました。3 月に福島県いわき市にて畳運搬中に自動変速機が故障してしまい、レッカー移動で石巻へ。現在も修理工場様に預かっていただいておりますが、中古部品が見つからず新品部品は高価なため、多額の修理費用が掛かる為みやぎチャレンジプロジェクトを通じて募金活動を行っています。



○令和 3 年子ども支援事業予定○

- ①よいこの遠足 2021
7 月下旬 ベルサンピア泉のプールへ
- ②職業体験 SKILL UP ツアー
8 月 20 日頃予定 石巻の子ども達を東京へ招待
- ③GROW UP 石巻2021
9 月 19 日頃予定 釜会館を予定しています。
- ④よい子のクリスマス会
12 月 19 日 釜会館を予定しています。
- ⑤コスモス子ども食堂
@本草園会館 双葉町 8-24
・子ども食堂の月は毎月第三金曜日
16:00～20:00

・フードパントリーの月は毎月第四土曜日
12:00～15:00

○BIG UP 石巻 沿革○

- 【平成23年4月2日】
代表理事の原田が単身で石巻へ支援活動に参加
- 【平成23年4月4日】
アモール石巻を設立
釜・大街道地区を担当し復旧活動のボランティアを行う
- 【平成23年12月】
アモール石巻を解散し BIG UP 石巻を設立
- 【平成24年9月】
コミュニティスペース『たんぼぼの家』を運営開始
- 【平成24年10月】
一般社団法人の法人格を取得
- 【平成25年4月】
コミュニティスペース『コスモスの家』を運営開始
- 【平成27年3月】
子育て支援拠点『えんじえるハウス』を運用開始
- 【平成29年10月】
コスモスの家とえんじえるハウスの運営を終了
- 【平成30年3月】
代表理事の原田豊が辞任し、新代表理事の前田純が就任
- 【令和元年 10 月】
代表理事の前田純が辞任し、新代表理事の原田豊が復任
- 【現在に至る】

【発行元・発行者】 作成日時：令和 3 年 1 月 1 4 日
一般社団法人 BIG UP 石巻 代表理事：原田 豊
〒986-0857 宮城県石巻市築山 1-9-15 たんぼぼの家
TEL：0225-25-5585 FAX：0225-25-5586
MAIL：bigup.ishinomaki@gmail.com
HP：<https://www.big-up-ishinomaki.jp/>
：<https://www.facebook.com/BIGUPishinomaki/>

